

2018年度 第1回 常任理事会議事録

日 時：2018年8月6日（月）10:30～16:30

場 所：東京都千代田区内神田 3-24-5
エッサム神田 2号館 401

I. 開会 司会進行：大代専務

II. 会長挨拶：

大代専務より：本日、会長は大阪北地震のため欠席である。

III. 議事

1. 議長選出：福川副会長 議事録作成人：事務局 中村早苗

2. 定足数の確認：常任理事出席 35名（38名中）委任状 33名 監事出席 4名（4名中）顧問 1名 オブザーバーなし
事務局 3名 合計：43名

3. 議事録署名人の指名：正副会長より金子氏及び監事より望月氏を指名

4. 資料及び議題の確認・新議題の採択 議題は次第の通り、新議題 なし。

前回議事録の確認（メール配信済み）2018年度第1回理事会、第2回・3回正副会長会議

5. <会議の進め方：竹ノ内関連部会長より>

石産協での素晴らしい体験、入ってよかったこと（広報委員会にて集計 JSS にて発表）

6. 目的と事業の確認（定款抜粋）

【審議事項】

(1) 入退会について 入会 1名 退会 6名 大代 資料 P1

佐野：損保ジャパンは2年前から墓石保障制度（地震保険）の絡みがある。

入会：全会一致にて承認

退会：6社 承認

(2) 【加工】第10回 石材加工講習会@埼玉 10/25 大川 資料 P7

大川：今回は関東地区での開催。場所は埼玉県の間屋である原産業。座学講師小川長四郎氏と実技講師は埼玉県技能士会から3名の協力。会員限定で行う。講師謝金内訳は1人3万円。来年以降は初級からレベルアップしたものを検討。

質問無し

全会一致にて承認。

【協議事項】

(1) 【墓石】2019年度 墓石に関する消費者調査 柴田 資料 P10

柴田：消費者調査は7年前に行ったままである。中小企業団体中央会補助金を活用予定。準備委員会を11月に立上げ、来年度事業とする。調査会社に委託して調査を行う。外部協力者として行政、福祉、各術、宗教、関連団体。7年前は殆ど我々業界と纏わる学術関係者、マスコミの方で行った。今回は7年経ち、見取り産業が活発化しており、お墓のあり方は見取り産業にとっても大きな問題になってきている。特に孤独死が社会問題となっていく中、福祉の場において、お骨の行方がどうなっていくのが問題となっていると聞いている。社会福祉協議会にも声掛けをしてお墓に対しての考え方を調査していきたいと思う。消費者の意識が変わってきており、樹林墓地・合葬墓の満足度が上がっている。新しいことを見越しての調査を行いたい。全国の福祉の活動している団体と消費者データを持つことにより、結びついて新しい活路の開拓に生かしていければということも含めて調査を行っていきたい。今回の発表は、業界だけでなく行政の方へも出したいと思う。我々はお墓を立てるお客さんしか見ていない。社会全体がどのように考えているかを調査できるのは、このような調査でしか知りえない情報なので、非常に高額ではあるが、意義を感じる事業でありますので、皆さんの考えを伺いながら次の審議へ結びつけたいと思う。

テーブル協議のポイント

●行うか？行わないか？ ●協賛金について ●補助金申請が通ることが前提

①テーブル 上野：結果をどう活用するのか？協賛がなかった場合はどうするのか？協賛のメリットは？事業目的をねった方がよい。協会に対してよい結果、悪い結果の場合はどうするのか？

- ⑥テーブル 加藤：協賛金はどこが出すのか？協賛金の100万円は予想できる数字なのか。前回よりも分母を多く取れるようにした方がよいのではないかと。全国的な建墓数など市場の現状に関する数値も調べてほしい。定点観測は大事なことで事業としては継続して行ってほしい。委員会が何をやるのか、具体的な役割などを知りたい。前回予算※印ではなくわかるところは入れてもらいたい。
- ⑤テーブル 長江：前回の調査結果の活用がされていないのではないかと。紙レベルのアンケート集めは会員の方々に全員関わってもらい、支部で行ってもらう。結果を知りたいと思うような方式が良いのではないかと。調査の重要性は、超高齢化社会で、1人で亡くなっていく人が増えること。社会福祉協議会、或いは横須賀市で行っているように、一人で亡くなる可能性のある方々に個人データを市の方に預け、お金も自分の持っているものを支出してもらい、そうでなければ20万円ずつ税金で補填。しかしこれから先、税金補填は無理である。例えば横須賀市、熊本県などしっかりやっている行政から参加してもらう。社会福祉協議会で、お金を預かっているところなどから実例を出していただければ、最終的にご遺骨になったあとのお墓をどうするか調査にさせていただければと思う。
- ③テーブル 鶴田：前回の調査結果を活用しているのか？事業目的と逆行することがあるのではないかと。墓じまいの抑制が目的とあるが、樹木葬など首都圏でそのような実例があり、それが地方で手本となるようなケースも出てくるのではないかと。500万円を使うリスクがあり、補助金ありきの予算なので、代案があれば協議がしやすい。

柴田：結果の活用方法は発表会を行い、冊子、ダイジェスト版を会員に配布する。支部、地区大会において呼ばれば委員の誰かが発表するとよいと思う。協賛がなかった場合は、インターネット調査等より安く調査を行う。設問の設定は我々の方に向くようにしたい。協賛金は全有責、全石協、全葬連など業界団体、また介護の団体にもお願いしたいと思う。協会会員限定で講師を派遣できると良いと思う。調査の分母数はどれだけ予算があるかということになり、インターネット調査ができるかどうかで広く調査ができると思うが、中央会から（インターネット調査に対して）補助金が下りるかが問題である。現状の調査は別枠で行いたいと思う。委員会の役割は、設問の設定、出たデータを分析、検討を行う。予算の詳細は前回の調査を次回理事会に提出。アンケートの方策として、紙レベルの調査は支部長を通し、会員に周知も兼ねて依頼。死後事務委任の制度において石材業界が入っていければと思う。業界にとって悪い結果が出た場合はその時に考える。

質問の内容を受けた形で再度議案書を提出 次回 10/22 理事会再協議 12/6 常任理事会審議

【報告・周知・依頼事項】

- (1) **【支部助成金】** 奈良県支部 『石あかりの小径2018』8/4～8/14 大石 資料P16
大石：本年も継続事業として石あかりの小径を行う。夏の風物詩奈良燈花会に30基の石あかりを展示。昨年度同様石川県の方々の協力を得ている。三重県の田中石材様からも新作を展示している。
- (2) **【中国地区】** 中国地区大会@広島 開催中止について 藤井 資料P18
藤井：開催準備を進めていたが7月の豪雨により、広島県の金子副支部長が被災。7/24支部打合せの際に広島県支部会員よりこういった状況下では中止した方がよいのではと意見があった。また、一般の方のお墓詣りだけはできるようにしたい。広島県石材工業組合、広島県支部で被災した金子石材店の復旧支援をしている。来年2019年度に延期をし、改めて仕切り直しをしたいと思っている。
金子：一新して、すばらしい地区大会を実施してほしいと思う。
笠井：いたしかたないことだと思う。次年度は四国（徳島）の予定だったが一年延びる形でよいのか？
金子：できれば2019年度は広島。2020年度は四国でお願いしたい。
- (3) **【災害に対する支援について】** 大代 資料P19+追加資料
大代：西日本豪雨災害、大阪北部地震の報告となる。岐阜県から鹿児島県511社に災害被災状況の確認を行った。確認回答は追加資料の通り。支援内容は8/29臨時正副にて決める。災害対策基金が約230万円残っている。この基金を充てることも可能であるし、寄付金を募るといった案もあると思う。広島の金子石材店さんには10万円送金済みである。
福川：岡山県支部として、水害のひどかった真備町のお寺に対して清掃ボランティアを行った。
小野：8/4に石材関係6団体と曹洞宗の青年会20社50名の参加にて源福寺のお墓350基の掃除をした。
福川：お墓の管理者がしっかりしているこういった活動がしやすいと思う。29日臨時正副開催し、皆さまにも事例とし

て報告したいと思う。

(4) 【採石部会】第2回 国産銘石アドバイザー研修 in 茨城 9/26~9/27 鶴田 資料 P30+チラシ

鶴田：前は50名の参加。アンケートでは厳しい意見もあった。貴重な意見として、より売りやすい情報提供、花崗岩の説明を工夫するきっかけとしたい。現場を知れば顧客への提案の仕方も変わってくると思う。ぜひ、参加をお願いしたい。

友常：地元茨城開催。内容をまだ検討しているが、この研修を受けていただければ必ず国産材が売れる。知識の習得はもちろん、採掘、加工を実際に見ていただき、座学でのロールプレイング研修を行う。50名の参加をお願いしたいと思う。

【墓石部会】第2回墓石部会会議事業計画書（信仰）10/5（金） 佐野 資料 P32

佐野：第2回目を計画。新興宗教について勉強したいと思う。お墓の大切さのヒントを集めたいと思う。現在、新興宗教について複数検討している。

(6) 【関連部会】ストーンアシスト@東京 10/23 開催について 大塚 資料 P35

大塚：ストーンアシスト2018を今年度も行う。真の協会サポートとは何かを考えている。即実践できる情報を持ち帰ってもらう。ストーンアシストの内容をブラッシュアップする。集客のコンテンツとして、関連部会のオールスターの情報発信はどんなことができるのか考えている。ユーザーの視点に立って有益な情報を発信したい。

山口：継続していくとマンネリ化があると思う。どうしたら集客につながるかを考えている。是非参加いただきたい。

(7) 【輸入卸商部会】日中墓石交流会@恵安 11/11 開催について 吉川 資料 P37

吉川：毎年行われている日中墓石交流会。毎年少しずつ参加者が減少しているが、イベントを考えながら、参加者を増やしたいと思う。

山口：始まってから10数年経過している。皆さまの意見を中国の方も求めていると思う。多くの方に参加してもらい、中身のある議論ができると良いと思う。

(8) 【広報委員会】石工男子&石工女子による業界の活性化と墓石需要促進(その1) 吉野 資料 P39

吉野：一般消費者に石材業界について、より分かりやすくしていただきたいと思い、石工男子を露出していくこととした。石工男子の投票で、ナンバー1となった方のキャラクターLineスタンプを作成。

森田：ライン@とツイッターに力を入れている。

(9) 【広報】【お墓D】HPへのSNSアイコン埋込費用について 吉野・小野 資料 P43

小野：情報取得に於いて、SNSは切っても切れない重要性を含めSNSのアイコンを作成。費用は広報委員会と折半。ツイッター、ラインは登録をしないと使用できない。

(10) 【総会】第9回定時総会@高知 開催報告 6/22 大代・金子・竹ノ内 資料 P46+追加資料

大代：多くの会員が集まり、成功だったと思う。

竹ノ内：ザ・激論の討論会は資料の通り。激論の良かった点・改善点として追加資料のスタイリッシュアイデアとしての振り返りを参照。石産協の対話が広がりボトムアップ的な、一人一人が何とかしようとする一つの機会となったと思う。

金子：たくさんの方に高知に参加していただけて良かった。地方開催の難しさが心配されたが、素晴らしい定時総会となった。一つのモデルケースになり、地方の活性化となる。

大代：開催地についてだが、司法書士より役員改選がある時は協会所在地近郊（首都圏）で行った方がよいとアドバイスがあった。関係官庁の方が来ていただける環境が整えられる場所の方がよいのではないかと思う。

*次回開催会場についてテーブル協議

3テーブル：水野：北海道、沖縄 4テーブル：友常：近畿、福島、茨城 7テーブル柴田 地方開催を定期的に行ってもらえれば活性化になる。 8テーブル：藤井：持ち回りでした方がよい。日本海側 6テーブル：地区担当の副会長に決めてもらう。

2018年度 第1回 常任理事会議事録

三上：北海道地区での6月開催はかなり厳しい。 米本：東北はちょっと厳しいかもしれない。

(11) 【中長期】長期ロードマップ作成 竹ノ内 追加資料

竹ノ内：中長期として方向を考えていきたい。メインテーマを選定。ZOOMを活用して情報発信。こういった分野のことをという意見の指針を出してくれば良いと思う。

(12) 【近畿地区】全体会議開催報告 7/18～19 大石・水野 資料なし

大石：近江商人の生きざま、商いの原点、ノウハウ、心意気を学んだ。和やかに語り合い翌日は実際に近江商人の心に振れる機会となった。各近畿地区の支部長にお礼を申し上げたいと思っている。

水野：半年前からの準備。仲間意識のつながりが強いと感じている。地区大会の回数を重ねてきたが、どれだけ外に向けてアピールができてきているのかと思う。

(13) 【採石部会】経済産業省「採石法施行業務研修」開催報告 7/11 友常 資料 P55

友常：採石法施工業務研修に出席。採石業の厳しい現状と後継者不足、機械メーカーの消滅等の話をした。明るい材料として、石産協の団体が業界に対して様々な取り組みを行い活性化しているという報告をした。

(14) 【墓石部会】第1回墓石部会（東京）開催報告 7/19 テーマ：縁 佐野 資料 P58

佐野：テーマを『縁』として講師に行政書士の勝氏を迎えた。石材店の使命としては、供養の意味をどのように一般の方に伝えていくのかということをしかりとしていくべきという話があった。いろいろな提案をいただいた中で、グループディスカッションを行い良い部会となった。決算報告は次回。

(15) 【JSS委員会】ブースレイアウト進捗状況について 上野 資料 P61

(広報委員会、お墓ディレクター委員会、輸入卸商部会からの報告)

吉野：広報のテーマは会員拡大。過去の石産協通信の展示し協会の活動を伝える。石産協に入会してよかったものをポップ形式にし、貼り出しをする。お墓参りの啓蒙ポスターの展示。Line@のPR。インスタ映えを狙い石工男子のパネル作成。お墓参りの広告のついたウエットティッシュの配布

小野：お墓ディレクターのPRを目的。お墓ディレクター問題を解いてもらい国産パワーストーン原石をプレゼント。

お墓ディレクター検定の要項を配布。

吉川：輸入卸商部会から人気石種アンケートを地域別にとり、結果を張り出す。日本・外国銘石MAPの張り出し。顧客満足推進委員会と墓石部会の販売物の展示。

上野：セミナーは事前登録できるので、是非登録をしてほしい。24日にソナエ博も行われ、ここで朗読会を行い、お墓物語、母の日参りの朗読がある。

(16) 【JSS委員会】会員企業紹介冊子申込みについて 上野 資料 P66

上野：5,000冊発行 39社。会場で3,500冊配布し、全会員にも発送したいと思う。来年はメモリアルストーンショーと名称を変えるとTSOから連絡があった。我々が来年どう関わりあうかは今年の状況を見て判断したいと伝えてある。

(17) 【公正競争】進捗状況について 白木 資料 P67

白木：発起人の依頼を各団体に伝えたところ、12団体より承諾を得た。第1回公正競争規約設立準備会の日程調整をしている。全国の業界団体に賛同して頂き、進めているということを行政にアピールしていきたいと思う。

(18) 建築石材アドバイザー試験 棚瀬 資料 P69

棚瀬：石産協と提携している建築アドバイザー試験が10/13行われる。100問 80点合格であり、しっかり勉強していないと合格できない。興味のある方は、是非受験して頂きたいと思う。

(19) メール審議ガイドライン制定について 大代 資料 P71

大代：事業予算30万円以下の計画は正副にて審議だが、正副メール審議は不規則であり、議長不在等であることから、責

2018年度 第1回 常任理事会議事録

任の所在が分からない状態なので、原則として行わない。やむ負えない場合は会長判断。スケジュールを確認し期日までに上程を行ってほしい。

(20) 正副会長会議ペーパーレス化・7/12 第3回石川県金沢市にて開催報告 大代 資料 P72

大代：7/12 正副会長会議をペーパーレス化して行った。資料準備作業の煩雑さがあるので、上程議案の締め切りは厳守していただきたい。締切日はGoogleカレンダーを参照していただきたい。

(21) 会費未納者の対応について 大代 資料 P73

大代：未納者の会費請求は資料の通り従来通りとしたい。推薦者の協力をお願いしたい。

玉田：7/26 支部長会議を開催。高知から総会に参加したが九州からは交通の便が悪く次回は関東でお願いしたい。

能島：各種お礼はがきの申し込みを石産協通信に同封した。ぜひ活用してほしい。

井口：入会の促進を行っていきけるようにしたいと思う。

チェックアウト（グループ内にて感想発表）

戸部顧問：皆さんの活発にそして真剣に発言しているところを拝見して、石産協の未来は決して暗いものではないと感じた。今日、AERA（アエラ）という雑誌に『お墓はなくても大丈夫』という特集が組まれていた。このような刺激的な題材を特集があり、危険だと思う。そういったところをきちんと対応するために、石産協も広報活動を通じて、そういったものを是正していく必要性がこれからあるのではないかと思う。

監事講評

斎藤：皆様方の慎重審議良かったと思う。

5月に秋田市にて合葬墓が平和公園にできた。費用は17,000円で1500基を入れる予定。1000体受付が午前中に終了。追加500基も600件の申し込みがあった。政治的な動きも必要かと思う。

望月：協議事項のお墓についてのアンケートの取り方だか、質問事項の内容の討議はどのようにするのか？対象者はどこでとるのか？場所によって違いが出ると思う。会議の仕方も検討してもらえたらと思う。

伯井：9月、10月、11月と各部会の行事が真剣に討議され、非常に活性化してきていると思う。世の中相当厳しい状況で、少子高齢化がどの業界にもかかっている。真剣に討議されていることを実感した。

犬塚：事業内容が活発化している。久しぶりの理事会参加で、設営がロの字からグループ化していて会話ができ、非常に良かったと思う。せっかくたくさん理事が集まっているので、議案の都合もあるかと思うが、協議する時間をなるべく多くとり、よりよい事業にするために意見を集約した方がよいのではないかと思う。

閉会

2018年8月6日

議事録署名人：金子 宗弘 ㊟

議事録署名人：望月 威男 ㊟

議長：福川 修介

議事録作成人：事務局 中村 早苗